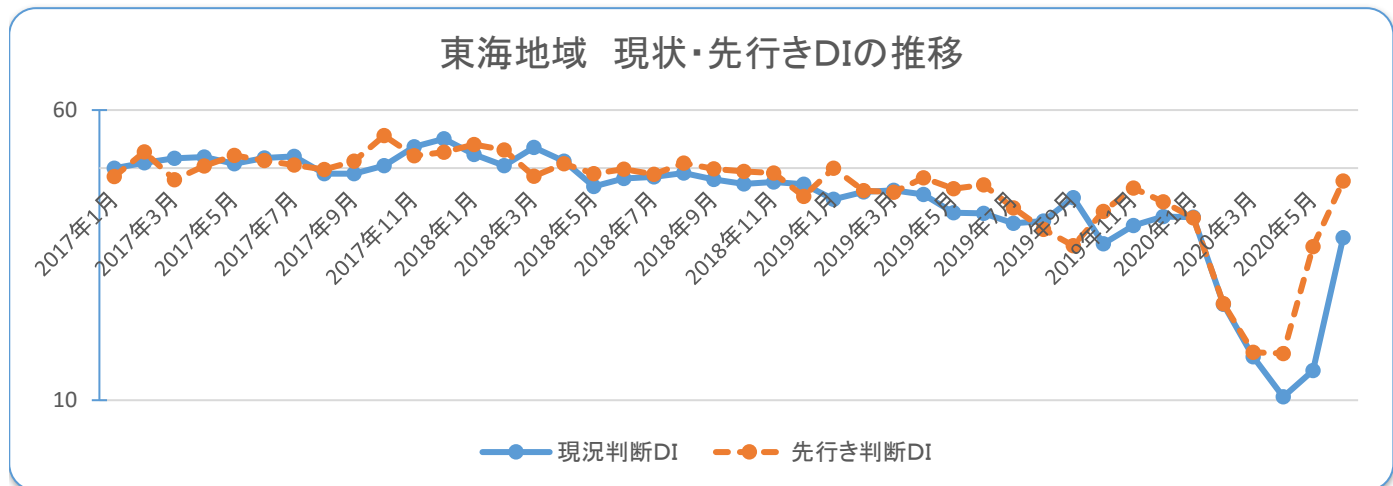


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2020年6月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《来客数の動き》新型コロナウイルスの感染拡大時期と比較すると、来客数は7%回復できている。同時に客単価も大幅に改善した。商品カテゴリーごとにもみると、デザート、米飯、調理麺などが伸張した。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	《販売量の動き》新型コロナウイルスの影響により積極的な営業ができていないにもかかわらず、客からの引き合いが多く、ほぼ計画どおりの新規契約数を維持できている。【通信会社（企画担当）】
		やや悪	《単価の動き》緊急事態宣言が解けてふだんどおりの生活が戻ってきたため、少し客単価が落ちてきたように見受けられる。【コンビニ（店員）】
	企業動向関連	やや良	《受注量や販売量の動き》6月に入り新型コロナウイルス対策の自粛解除に伴い客が少しずつ動き出し、来場者数や契約が伸びてきた。特に、実需として必要な客は動いている。【建設業（役員）】
		不変	《受注量や販売量の動き》新型コロナウイルスの影響が減ってきたものの、もともと時差出勤程度の対応だったため、状況は余り変わっていない。【電気機械器具製造業（営業担当）】
		やや悪	《取引先の様子》新型コロナウイルス対策による客先業界の休業は明けてきたが、設備投資をするほどのホールがなく、なかなか売上がつながらないのが現状である。【電気機械器具製造業（経営者）】
	雇用関連	やや悪	《採用者数の動き》将来予測をした上での募集終了等も、一旦底を迎えた状態である。今後に関しては、本質的に必要となるポジションで募集をしていく会社の動きが、顕著に表面化してくる可能性がある。【民間職業紹介機関（営業担当）】
		不変	《周辺企業の様子》製造業について、自動車関連に限っては下げ止まりの感がある。当面この状況が続くため、下げ止まりが継続すると想定する。【人材派遣業（営業担当）】
		やや悪	《求人数の動き》サービス業、小売業の大手の求人はまだ戻ってきていない。製造業も同様である。【民間職業紹介機関（支社長）】
先行き	家計動向関連	やや良	新型コロナウイルスの影響により売上が落ち込んでいたが、衣料品の売上が前年並みに戻りつつあり、食品の売上も非常に良いため景気が戻ってきた。【スーパー（総務）】
		不変	恐らく今の状態が続くが、なくなるものがあれば新しいものも出てくる過渡期かもしれない。【その他飲食〔仕出し〕（経営者）】
		やや悪	2～3か月では新型コロナウイルスの状況は変わらない。来年、再来年と長引くのではないかと懸念する。【美容室（経営者）】
	企業動向関連	やや良	社会の要請もあり、ネットワークの大容量化に向けて設備投資は堅調であるとみられる。これらの関連事業は、しばらくは安定した展開ができると見込む。【電気機械器具製造業（総務担当）】
		不変	今年度の仕事に対しては予算が決まっているが、今後に関しては、現在の社会情勢が延長した場合の寄附金や補助金との兼ね合いで、発注になるか延期になるのかがはっきりしていない。【建設業（営業担当）】
		やや悪	これだけ経済情勢が悪化しているなかで、これからは投資関係も減っていくので、建築投資が夏以降、例年どおり出てくるか非常に心配しており、悲観的な見方にならざるを得ない。【金属製品製造業（従業員）】
	雇用関連	やや良	新型コロナウイルス感染拡大の影響等で、新規求人数の落ち込みが大きかったが、6月に入り少し持ち直しがみられる。【職業安定所（所長）】
		不変	社会経済活動が動き始め、求人数が増加している業種もあり、新型コロナウイルス禍から立ち直り始めているとみられる一方、今後の雇用調整の情報も多く聞かれる。【職業安定所（職員）】
		やや悪	新型コロナウイルスの今後の感染状況による。現時点より少しでも拡大した場合は、経済活動再開にブレーキが掛かるが、現状を維持できれば、変わらないと考える。【職業安定所（次長）】